

「慣用句」に関する問題

年 組 番

氏名

山本さんの学級では、「慣用句」について学習しました。「慣用句」とは、二つ以上の言葉が組み合わせられて、ひとまとまりの意味を表す言葉です。山本さんは、「耳」という言葉を用いた慣用句の意味と、その使い方をカードに書いています。

カードの に入る慣用句の意味としてふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【山本さんが書いたカード】

「耳にたこができる」

◆意味：何度も同じことを聞かされ、うんざりする。

◆使い方：この話は、耳にたこができるほど聞いた。

「耳が痛い」

◆意味：

◆使い方：この話は、ぼくにあって耳が痛い。

「目を落とす」

◆意味：下を見る。

◆使い方：足元に目を落とす。

「目を配る」

◆意味：

◆使い方：一人一人に目を配る。

ア…

- 1 相手の話を一生懸命に聞く。
- 2 相手の声が大きくて、聞いてもらえない。
- 3 自分の欠点を言われて、聞くのがつらい。
- 4 自分の欠点の改善策を言われて、ためになる。

イ…

- 1 物をさがす。
- 2 注意を向けてよく見る。
- 3 こっそり行動する。
- 4 人にやさしくする。

【「慣用句」に関する問題 ― 「耳が痛い」「目を配る」―】

解答

○ ア：3

○ イ：2

【耳が痛い】

・「痛い」の意味は、「心に苦痛を感じる」「精神的につらい」「弱点を攻撃されて閉口するさま」などがあります。

その「痛い」と「耳」とを結び付け、連想しながら意味を捉える必要があります。

【目を配る】

・「配る」の意味は、「渡す」「届けて回る」「注意を行きわたらせる」「配置する」などがあります。

その「配る」と「目」とを結び付け、連想しながら意味を捉える必要があります。

慣用句には、次のような種類に分けることができます。

- ① 体の部分に関する語が入っているもの
- ② 動物名が入っているもの
- ③ 数字が入っているもの

本や文章を読んで、その中に使われている慣用句を探して、一覧表にまとめたり、辞典で意味を調べたりしてみましよう。

調べた慣用句を、スピーチや説明的な文章を書くときなどに使えるといいですね。

